

駐妻のヒューストン日記

第234回 中島朋美さん

夫のヒューストン赴任が決まった2020年秋頃はコロナ禍の最中でした。私から夫への唯一のリクエストは、2人の息子達(当時小6小3)のピアノの習い事をヒューストンでも続けたいということ。「親の都合で諦めて欲しくない」という気持ちでした。2021年1月に渡米してから暫くは、現地校と補習校に通うだけで精一杯で、習い事のことは一旦保留状態でした。2月中旬にテキサスに大寒波が襲来しました。我が家は5日間の停電と水道管破裂に見舞われました。コロナと大寒波で心が落ち込む中、早く日常を取り戻したいと思うとともにピアノレッスンを再開させたいと感じました。ここからはピアノの習い事をヒューストンで再開させるまでの私の経験談です。

ピアノを買う

私は次の6つの方法で生ピアノを探しました。①正規ピアノメーカー店 ②中古ピアノ販売店 ③ピアノ修理/調律兼販売店 ④ピアノ専門オンライン売買仲介サイト ⑤ローカル売買掲示板 ⑥知人の紹介。

長期間ピアノを使用する場合はレンタルよりも購入の方が費用の面でお得、またピアノは本帰国の際は車と同様に市場価格で売却可能です。①②③は店舗があり試弾ができるので安心感があります。⑤は価格はお得ですが詐欺の話聞いたことがあります。私自身、⑤で無料ピアノや格安ピアノの売主から数回奇妙な対応をされたこともありました。

ここから実際の購入経緯の説明です。④の売主にメールで問い合わせたところ、「残念ながらそのピアノは売却済だが知人Aが同じ価格帯の中古ピアノを丁度今から売るので紹介したい」と返信がありました。あまりに都合の良い話だったので詐欺を疑いましたが、欲しかった機種だったので。慎重に交渉する覚悟で、「その知人Aを紹介してほしい」と返信すると5分以内にAさんからメールが来て余計に怪しく思いました。その後数回メールのやり取りを繰り返し実際にAさん宅でピアノの試弾をすることになりました。試弾には調律師に同行を依頼しピアノの状態を確認してもらい、調律師のお墨付きを得て、Aさんと個人売買で価格交渉をしました。運搬手配と費用は買主負担、ピアノ代金はピアノ引渡し時にAさん宅にて夫がCashier's Checkで払いました。ピアノ搬出時刻に運搬

業者がAさん宅でなく、間違っって私の家に現れた時は嘔然としましたが、最終的にピアノが我が家に届きほっとしました。



▲戸田先生と息子達

先生を探す

日本と同様、実際に習っている方から情報を聞いたり、ネットで調べたりしました。コロナ禍でリモートが主流でしたが、対面で自宅レッスンをして下さる戸田先生を近所の日本人ご家族から紹介していただきました。先生に習い始めてから早や3年経ちました。優しく楽しく辛抱強くピアノの基礎から音楽の歴史まで先生の経験談を交えながら息子達にご指導いただきとても感謝しています。ピアノ発表会は他の生徒さんとご家族の皆さんと直接交流できる楽しく貴重な機会です。

信頼できる調律師を探す

ピアノは木材、金属、羊毛、樹脂で出来ている為、湿度や気温により音が変化します。年1、2回の定期的な調律が必要です。私はピアノ購入に関する相談を受け付けている調律師に問い合わせた事がきっかけで信頼できる方に出会うことが出来ました。試弾同行やその他諸々ピアノに関する相談が得意な存在です。

日本の住宅事情と比べると、ヒューストンは土地が広く、近所への楽器の騒音をあまり気にせず練習ができる恵まれた環境です。海外で習い事を始めるには日本とは異なる事が多く不安でしたが積極的に探していく中で、ピアノ、先生、調律師さんとのご縁に恵まれました。幼い頃からの習い事の継続が息子達の特技や自信になり、少しでも彼らの人生が豊かになればと思います。

夕飯の支度をしている時、ピアノの練習曲が聞こえてくると、ふと幼かった日々を思い出します。「これまで続けてきてくれてありがとう、これからも続けられる限りがんばってね」と心の中で呟きます。

駐夫日記、駐在ファミリー日記も募集中!!

No.164

UNDERESTIMATE 中編 Vol.164. Since2007

ヒューストン知っとん物語

By Kumiko



© KUMIKO